

スマート農業を活用した農福連携を実践することで、農業を通じて障害者の働く場を提供するとともに、高齢化・後継者不足となっている地域農業の担い手として地域に貢献。

基本情報

- 所在地：福井県あわら市
- 団体名：有限会社あわら農楽ファーム
- 選定表彰：
 - 令和3年度 いちほまれコンテスト「最高賞」受賞
 - 令和5年度 FUKUIふるさと納税事業者アワード「大賞」受賞
 - ノウフク・アワード2023 準グランプリ（未来を耕す）
- 主力商品：特別栽培コシヒカリ、特別栽培マルセイユメロン、いちごジャム、米菓、あんぽ柿、あわせ柿
- 取得認証等：認定農業者

取組の概要

- 平成13年に、障害者に雇用の方を確保することを目的として、県内の社会福祉法人から独立し、新規就農。
- 平成30年にICT（情報通信技術）による圃場管理システム及び農業用ドローンを導入。令和4年には福井県農業試験場と共同で、スマート農業による農福連携の実証試験を行い、障害者がロボット田植え機、アシスト付コンバインを操作。高齢化・後継者不足となっている地域農業の農作業を受託し、地域の担い手となるとともに、障害者の作業領域の拡大や、雇用・就労の機会の拡大を実現。
- 農福連携の農作業を一年を通じて行うことで、就労の場を安定的に確保。



アシスト付コンバインによる
稲刈り作業

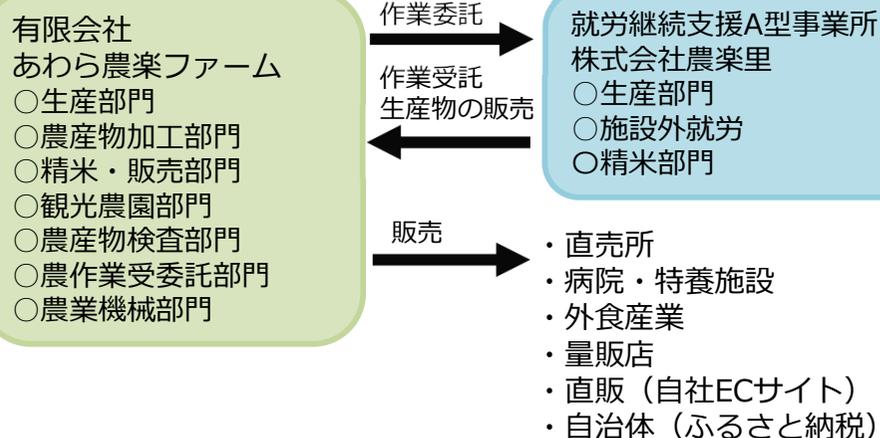


ロボット田植え機による
田植え作業



柿の摘果・摘蕾作業

体制図



取組の成果

- 取組当初は5名だった施設外就労の受け入れ人数が10年で12名に増加。
- スマート農業機械を扱うことで障害者のモチベーションが向上、10年で5名が一般就労に移行。
- 高齢化・後継者不足となっている集落営農組織のほ場の草刈り、田植え、稲刈り等の作業を受託し、地域農業の担い手として信頼され、耕作面積が85haを超え、売上も順調に増加。

所在地 ▶ 〒919-0601 福井県あわら市山室72-101

連絡先 ▶ TEL:0776-73-5955 E-mail: info@awara-nougaku.jp

ウェブサイト ▶ <http://www.awara-nougaku.jp>

【取組のプロセス】

平成13年

農業生産に加えて加工販売部門を設置したことで雇用の場を拡大

きっかけ

平成13年に県内の社会福祉法人から独立し、障害者に雇用の場を提供し、地域農業の担い手として貢献することを目的に有限会社シーネット坂井を設立

平成16年

学校給食、病院、介護施設等へ食材を納入することで持続的で安定した販路を確保

米作りと野菜・果樹の生産・加工・販売に取り組む

- 設立と同時に認定農業者の認定を受け、平成16年に米穀の出荷又は販売事業者の届け出を行い、生産から加工・販売まで障害者の自立支援に向けた農業経営に取り組む。

平成25年

平成22年農業主導型6次産業化整備事業を活用
平成23年から観光いちご園「農楽里」を開園

名称の変更

- 就労継続支援A型事業所「株式会社農楽里」設立
- 有限会社あわら農楽ファームに改称

平成30年

乾燥調製施設、米穀専用集出荷保管調整施設（低温倉庫）の新設

情報通信技術の導入

- 情報通信技術（クボタKSAS）、農業用ドローンを導入することにより、電子地図を使用したほ場管理、作業の記録、進捗状況の把握など「見える化」を行い作業の効率化を図る。

令和4年

平成25年から令和4年まで10年間で5名が一般就労

スマート農業による農福連携

- ロボット田植え機、アシスト付きコンバインを導入し、障害者がスマート農業機械の操作を行うことでモチベーションがアップし、仕事に対する自信が生まれることから、一般就労へ向けてスマート農業機械を積極的に活用。

今後の展望

「ASIAGAP」
「ノーフクJAS」
を取得予定

障害者等の雇用・就労拡大と地域の活性化

- スマート農業による農福連携によって障害者の作業領域の拡大、多様な農作業の経験などにより、一般就労への途を開き、ノーマライゼーションの実現を図る。
- 坂井北部丘陵地の景観を生かしたスイーツコーナーの新設、醸造用ブドウ栽培に取り組む。
- 農業体験、農産物の販売等、地域との連携を深め、地域の活性化につなげる。



スマート農業による田植え



水稻の播種作業



畦草刈作業



あんぽ柿の皮むき作業